

## 平成 15 年度第 4 回理事会抄録

日時：平成 15 年 10 月 18 日（土）PM 13：00～16：55

場所：（社）日本作業療法士協会 7 階 会議室

出席：杉原（会長）、中村（春）、山根（副会長）、荻原（事務局長）、富岡、古川、（監事）、岩瀬、香山、鶴見、曳地、比留間、松房、（常務理事）、大熊、片岡、中村（茂）、小林（正）、早川、日垣、山本（理事）石塚、小林（毅）、毛束、佐藤、佐竹、大嶋（部・委員長）

### 審議事項

1. 協会・都道府県士会会員情報ネットワーク事業の件（岩瀬調査部担当理事）システム運用状況は 3 ヶ月で 3,859 件のアクセスがあった。調査部の提言として保守契約費については協会負担とし、士会接続通信費は士会負担としたい。今後も 5 カ年計画で全県士会に接続を募っていく。承認

2. 国会議員の協会推薦の件（杉原会長）歯科技工士・中西茂昭氏と薬剤師・小西恵一郎氏から推薦依頼があり、協会として 4 項目の提案をし、両者から賛同の返事があったので推薦をしたい。承認

3. 補正予算について（石塚部長）教育部の支出のうち旅費交通費を 20 万減、認定作業療法士の手帳印刷製本費を 200 万円減とする。生涯教育システム資格審査委員会 20 万減、予備費 7 万 7000 円減とし、総額 3 億 1596 万 9000 円としたい。郵送投票がなくなったので、事業費の積立をそのまま残し、生涯教育の新制度移行の事業と役員合同研修会の実施に充てた。承認

### 4. 教育部

1) 作業療法士養成教育最低基準について（岩瀬教育部理事）前回の理事会での意見を踏まえて文言の修正をし、「教育目標」の優先順位も並べ替えた。「臨床教育に関わる指導者」の「相当の臨床実践を経験している」の「相当」等、数字的にあいまいな表現について、また文言についての修正を求める意見が出たが、修正していくことで、この案を協会案としていく。今後の作業については、審査の基準づくり、課題の検討等、仕事の重きを WFOT 認定等教育水準審査委員会に置き、基準の見直し、修正等については教育部が入り、予算も含めて教育部と連携して行う。承認

2) 生涯教育認定講座士会申請分最終審査報告（岩瀬理事）申請県士会は 17 士会の 78 件で、このうち認定できたのは 64 件、条件不足等のための不認定が 14 件である。承認

3) 認定作業療法士・現職者研修について（日垣教育担当理事）研修の実施方法について、演習形式がよいか、講義形式がよいか、研修の効果上げるためのフォローアップ研修等について、また研修の到達点をどこに置くか、認定作業療法士のレベル、人数比についても議論した。前回理事会の意見を反映した「選択」を「専

門」に、「共通」の中に「教育、研究、管理・運営」を入れる、また現場の意見を取り入れること等を確認し、大卒で了承。 承認

#### ・報告事項

1. 医道審議会理学療法士・作業療法士分科会倫理部会報告（会長）  
司法処分を受けている PT、OT の行政処分の検討および確認をした。行政処分は 5 名（1 名が OT）。
2. 都道府県作業療法士会連絡協議会からの要望について（会長）  
「実務者研修会の開催」「作業療法推進活動モデル事業」については、継続する。「作業療法推進月間の時期の柔軟化」は前向きに検討。「役員合同研修会の継続」については予算との絡みで検討する。
3. 機器問題担当理事活動計画（会長）1) 福祉用具プランナー研修の専門講師として OT の専門講師一覧をテクノエイド協会に発信したい。2) 協会独自のプランナー専門研修を企画したい。3) 15 年度までの取組実績の整理と 16 年度福祉機器問題の活動計画の立案。
4. 事務員採用の件（荻原事務局長）前回理事会で承認され、その旨を本人に伝えた。
5. 精神保健従事者懇談会に関する報告（早川理事）1) 100 回記念フォーラムが来年 7 月に開催され、協会も協力する。2) 会則作成との関連で、OT 協会にも代表幹事について打診があったが、当面は幹事団体としてという意思表示をしたい。
6. その他
  - 1) アジア太平洋学会報告（富岡監事）1) 第 1 回佐藤剛記念講演が行われ、基金の活用法について検討、2) マレーシアから第 14 回世界大会の準備報告と協力要請、3) 日本から英文学術誌の出版の報告と継続についての協力要請、4) 次回のアジア太平洋学会の開催が香港に決定、5) 今後、正式な連絡協議会にしていく方向で検討。提案として、日本 OT 協会として第 5 回の誘致を検討すべきではないか。
  - 2) 広報部活動報告（山本理事）1) 協会 CM を 250 回程度放送開始、2) 次年度の広報ビデオ製作のためのアンケートを実施、3) 総合ガイドの改訂作業実施、4) 広報誌オペラ、取材先などの検討、5) モダンホスピタルショー等の出展について。
  - 3) WFOT 認可手続き（案）について（富岡 WFOT 代表）
  - 4) 第 14 回全国老人保健施設大会（曳地理事）出席報告。
  - 5) 事務局報告（荻原事務局長）1) 平成 15 年度会員名簿発送、2) 退会者報告。
  - 6) 中村副会長報告 1) 「福祉用具・住宅改修の評価と供給のシステム化に向けて」の報告書を 1500 部配布した。2) 日本リハビリテーション病院施設協会の理事会と総会報告。
  - 7) 「臨床実習の手引」（小林部長）1 冊 500 円で販売する。

以上

